

北陸の眼科医をつなぐ情報マガジン

vol.7

EYE LINK

FREE PAPER

対談 ——

愛媛大学医学部眼科学教室教授

大橋裕一

金沢大学医薬保健学域

医学系視覚科学(眼科)教授

杉山和久

富山大学医学薬学研究部

眼科学講座教授

林 篤志



眼科医療の
地域向上を目指して

地域の枠を超えた大学間連携で、
眼科医療と研究の質を
高めたい。

全国的に眼科医不足が取りざたされるなか、
地方における若手眼科医の育成や医局運営が大きな課題となっている。
愛媛大学医学部眼科学教室の大橋裕一教授は、
今から20年前に崩壊寸前だった眼科医局を、超人気医局にまで押し上げた。
成功の秘訣はどこにあるのか。
金沢大学の杉山和久教授、富山大学の林篤志教授と
話し合っていた。

愛媛大学医学部眼科学教室教授

大橋 裕一

金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学(眼科)教授

杉山 和久

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座教授

林 篤志

医療連携対談

愛媛大学・大橋裕一教授に聞く
これからの地方大学の取り組み

弁当とクイズ対抗戦で 引き付ける

林●大橋先生は、わたくしの大学（大阪大学）の先輩で、研修医時代からずいぶんお世話になった人です。大阪大学で医局長をされているときもそうでしたが、いろんなアイデアをたくさん出されて周りの人を楽しませてくれる稀有な先生で、わたし自身大変尊敬申し上げております。今日は先生の発想、アイデアの一端をうかがってぜひ、今後の医局運営や若手医師の育成の参考にさせていただきます。

大橋 ●わたしが医局長をしていたのは、実は恩師の眞鍋教授が退官される直前のころでしたが、その教授から「大橋君、最近、医局会に参加する人が少ないけど、なんとかならんか」と相談を受けたことが発端です。少し予算がかかってもいいからといわれて、まずお弁当の質を上げました。北新地の仕出し屋さんにお願いをしたと思います。それと関連病院間のクイズの対抗戦をやりました。

杉山 ●クイズの対抗戦？ それを医局会でやるなんてふつうは思いつかないですよね。

大橋●発想を変えたんです。医局会というのは関連病院まではなかなか参加しないんですが、この人たちをアクティブな形で医局会に引き込めないかということです。そこで、病院対抗の眼科クイズをトーナメント形式でやったところ、やはりおめおめと負けるわけにはいかないと思うんでしょね。対戦相手の病院がどれくらいの実力があるか偵察に來るので、必然的に参加者は増えました。クイズそのものがたまったこと



大橋 裕一 *Yuichi Ohashi*

愛媛大学医学部眼科学教室教授

◎プロフィール

1975年 大阪大学医学部卒
大阪大学医学部眼科入局。
1978年 大阪大学微生物病研究所助手
1982年 米国UCSFプロクター眼研究所留学
1985年 関西労災病院眼科部長
1992年 愛媛大学医学部眼科教授
2003年 愛媛大学医学部附属病院病院長
2006年 愛媛大学理事・副学長
[専門分野] 眼感染症、角膜手術、角結膜疾患



杉山 和久 *Kazuhisa Sugiyama*

金沢大学医薬保健学域
医学系視覚科学（眼科）教授

◎プロフィール

1984年 金沢大学医学部医学科卒業
1990年 米国オレゴン医科大学研究員
1996年 岐阜大学講師
2000年 岐阜大学助教授
2002年 金沢大学教授
2010~2012年 金沢大学附属病院副病院長
[専門分野] 緑内障



林 篤志 *Atsushi Hayashi*

富山大学医学薬学研究部眼科学講座教授

◎プロフィール

昭和63年 大阪大学医学部卒業
昭和63年 大阪大学眼科に入局
昭和63年~平成元年 大阪大学医学部附属病院眼科 研修医
平成元年~3年 松山赤十字病院眼科 勤務
平成3年~5年 東大阪市立病院、大阪府羽曳野病院 眼科勤務
平成5年~6年 大阪大学医学部眼科 シニア医員
平成7年~9年 ジョンスホプキンス大学
ウィルマー眼研究所 Research fellow
平成9年~12年 大阪大学医学部眼科 助手、学内講師
平成13年~18年 医療法人 明和病院 眼科部長
平成18年~19年 カリフォルニア大学サンフランシスコ眼科
Associate Adjunct Professor
平成19年10月 富山大学 眼科学講座教授
[専門分野] 網膜硝子体

もあって、医局会は大いに盛り上がりました。あとはそうですね、当時は白内障の手術法についていろいろ議論があった時代だったのですが、同窓会の中からオビニオンリーダー格の先生を2人指名して、論陣を張っていたいただきました。俺はI/A派だとか、シムコ派だとか、自分のコンセプトやこだわりを話すんです。両方の話を聞いて医局員が、どっちが良かったか判定する。アメリカ大統領選挙のテレビ討論みたいな感じですね。その先生の手術のフィロソフィが聞けて楽しかったですね。そのほか、関連病院に出身したまましばらく医局会に顔を出さない先生に声をかけて、今どんなことに興味を持って仕事をしているのかを話していただく、「あの人は今……」という企画も受けましたね。そういういくつかの仕掛けで医局会に顔を出す人が、マックスで70〜80名くらいに増えました。倍増ですね。

杉山●それはすごい。教授も喜ばれたんじゃないですか？

大橋●大喜びでした。退官の年でしたが、医局会が盛り上がり、とてもいい恩返しができたと思っています。ところで、わたしは眞鍋教授の医局運営法というか人材育成法を踏襲しています。あくまでも本人の自主性に任せて、進みたい道、やりたい研究があればそれを応援する姿勢なのですが、今もそれを肝に銘じています。眞鍋教授風に言うと、「教授は何もしないことやー」という表現になりますか。

崩壊寸前の医局に“新風”

林●大橋先生が愛媛大学に赴任された当時、



医療連携対談

愛媛大学・大橋裕一教授に聞く
これからの地方大学の取り組み

どうやって機器を揃えるか。病院もやすやすとお金は出しません。そこで、阪大時代に親しかった医療機器の会社、そうですね、全部で10社くらいにお願いして、いろんなものを借りまくりました。今の時代そんなことはできませんが、まさに苦肉の策でした。その合計額は3億円にもなっていました。

したが、すると、その時にたまたま大学に監査が入ったんですね。「どうしてこんなに眼科が機器を借りているんですか？早急に是正しなさい」との指摘があったようで、病院長からは、「わかりました、来年度に概算要求しましょう」という夢の様なお言葉をいただけました。首尾よく翌年に全部をゲット！ほんとにラッキーですよ。（笑）

杉山●デモ（デモンストレーション）をうまく活用されたわけですね。臨床の基盤を整えようと考えられたんでしょうけど、結局、入局者はどのくらい増えたんですか？

大橋●わたしが赴任してから年々増えて平均で7〜8人。一番多い年で10人くらいです。でも90年代は、基本的に眼科医が人気だったんです。風が吹いていたことも多分に味方してくれた気がします。

サブスペシャリティと多様性が重要

林●学生が実習に来た時に眼科の医局に人がたくさんいたら驚きますし、大橋先生がまた人を引き付ける魅力があるんだと思います。わたしが富山大学に赴任したときも先生と同じような状況でした。杉山先生も同じように入局者がなかなか増えない現状を憂いておられます。大橋先生は、医局を活性化するためにどんなことに気をつけておられますか？

大橋●結局は「粹にはめない」ことだろうと思います。その人が何をしたいのか、研究したい人もいれば開業をめざす人もいます。女性は結婚とか、育児とかいろいろあるし、デュリティを単に押し付けけるのではなく、働きやすい環境をつくることに腐心しています。ところで、昨年ですが研究棟の改修があって、医局に真っ赤なオープンキッチンを入れました。IH仕様、自動洗浄器です。大学というところでは、とかく「食」はおろそかにされがちです。昼時には手料理なども振る舞われ、これがなかなか評判です。

杉山●自主性を重んじる、個人個人にあったやり方を考えるのはわたしも同感です。ただ入局者を増やすには、まず医学生に興味を持ってもらわないといけない。眼科は実際には検査や治療、手術も医師が自分で

直接、手をかけられるし面白いところはたくさんある。それを学生に知ってもらうために、たとえば実習で眼底検査を経験させる。ところが実際には自分で診れない学生が多い。以前は、わたしがレクチャーしていたんですけど、今は直接、教えています。自分で眼底が診えたり、視神経乳頭がみえるところは感動しますよ。

大橋●感動や成功体験をいかに興味につなげるかが重要です。実際に入ってみると眼科は楽しいんですね。やってみようという気持ちを起こさせるために教授自らが先頭に立つことが必要だと思います。僕も学生に眼底検査を教えてください、見えたらとても喜ぶんですよ。眼科に興味を持てるのが第一歩ですよ。

林●自主性を重んじるとか、本人の好きな選択をさせるのは、大学としても専門分野

だけではなく、サブスペシャリティを持つことにもつながりますね。

大橋●まったくその通り。わたしは角膜が専門ですが、誰かが緑内障をやりたいといえ、専門の先生のところで何年か経験を積ませますし、網膜硝子体がやりたいといえ、同じようにします。眼科医不足は四国では特に厳しく、過疎地への医師派遣は大変です。ただし、一人医長は置いていません。一人医長はある意味いい経験にはなりますが、伸び盛りの若い先生には酷です。むしろ、地方大学では珍しい方式かも知れませんが、拠点病院制をとっています。実は、松山、新居浜、宇和島と言った県内の中核都市に定員が4〜7名クラスの病院が4つもあるんです。人がたくさんいれば、サブスペシャリティも生まれやすくなります。拠点化は入局者を増やすポイントだと思いますけどね…。



「大学連携」を地方から発信

杉山●これは林先生と基本的な認識で一致しているのですが、わたしは北陸のような、一つの文化圏を形成している地域で眼科医の不足をカバーしていくには、病診連携がとくに重要だと考えています。しかしそれを深める大前提は、じつは大学同士の連携こそが重要ではないか。近隣の大学同士が良好な関係を築いていないと、現場が地域連携や医療連携を唱えてもなかなかうまくいくものではないと思います。昔のように、大学同士が垣根をつくる時代ではないですよ。

林●そう思います。医局員が必ずしもうまく賄えない現状では、まず地域連携、病診連携が重要です。富山県内には金沢大学の関連病院や金沢大学出身の開業医の先生方もおられますので、大学連携がすめばもっと広がる可能性は十分あります。

大橋●地域の大学、地方の大学が生き残る



には病診連携が重要というご指摘には全く同感です。都会の大学と地方の大学では医療ニーズは違います。これを機に地方の大学が大学の枠にとらわれず、眼科間の連携をしてもいいんじゃないですか。病診連携だけではなく「研究」の連携も可能だと思いますが。

林●実際に、大橋先生が言われた着眼点とか、それで出てきた研究もありますからね。

杉山●たしかに研究の連携も可能ですね。林先生と連携すれば、わたしたちは網膜の研究が深まる。逆に、林先生のところはわたしたちと連携して緑内障の研究をもっと広げるといように、お互いの弱い部分を補える。グループでやるのも一つかもしれません。

大橋●いいですね。今日の一番の収穫は「大学間連携」ですか(笑)

林●ぜひつくっていただきたい。大橋先生、杉山先生、本日はお忙しいところどうもありがとうございました。

地域の眼科医療から

北陸地区には大学病院と共に地域医療の担い手病院がある。
今回は砺波南砺の地域医療における最前線で活躍されている
砺波総合病院の現在の診療状況についてお聞きした。



市立砺波総合病院

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
TEL.0763-32-3320



「ご来院される患者さんの様子や特徴について？」

硝子体手術に関しては、患者さんの希望にもよりますが、今年からは硝子体専門の施設に紹介するようになっています。

杉山能子先生による月1回の斜視外来と斜視手術、佐々木先生による涙道の手術も年2回行っています。

「現在の眼科スタッフ体制、診療治療実績について？」

砺波医療圏である砺波市、南砺市の患者さんがほとんどです。やはりご高齢の方が多くです。病診連携がきちんと実施されているので近隣の眼科の開業医さんからのご紹介が多いです。内科の開業医さんからも糖尿病の眼底検査依頼があります。

「特に重点をおいて取り組んでいる診断や治療分野がございましたか？」

地域の中核病院であり、地域的にご高齢の方が多くので手術では白内障が多いです。定期通院では糖尿病網膜症や緑内障の患者さんが圧倒的に多いですし、最近ではルセンテイスやアバスタン硝子体内注射が必要な症例のご紹介も増えています。

「今後の診療の取り組みに関して、興味のある分野はありますか？」

最近使用してみたのですが、緑内障のインプラントである「エクスプレス®」は手術のストレスが少なく便利かなと思っています。1例目は再手術の患者さんに使用しましたが、今後は、教授にもご相談して初回手術でも適応のある患者さんがいらっしやれば



部長 大田妙子 おおた・たえこ

【専門分野】
白内障、緑内障、糖尿病網膜症
【認定資格】
日本眼科学会 専門医

取材ノート

取材中は和やかな会話の中に笑いも混じりアツという間に時間が過ぎました。北陸地区においても恐らく随一の同一病院勤務年数をご経験され、常にスタッフとの一体感を感じさせる環境でした。

使ってみたいと思っています。あと、涙道手術も涙道内視鏡があれば、ちょっとやってみたいかな…。

「現在までの砺波で思い出でのあるエピソード等がありますか？」

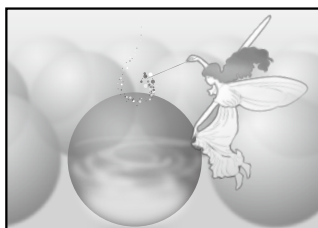
やはり砺波には長くいるので、最近では「うちのじいちゃん（父）、ばあちゃん（母）も先生に手術してもらったよ」と言われる、おじいちゃん、おばあちゃんを「手術する」ようになることが多くなっています。（笑）砺波にはもう21年になりますので…（笑）

また、子供の頃から診ていた患者さんが大人になり看護師さんになって当病院に就職したりとか、実は去年採用した視能訓練士さんは、子供の頃に私が斜視で診ていた患者さんでして、視能訓練士になって戻ってきてくれました。ちゃんと立体視もできますよ（笑）。そういうのって、なんか嬉しいですね。

患者さんの笑顔と健康を願って・・・

新薬開発の先に見えるもの・・・
私たちは考えています、
患者さんの笑顔と喜びを。

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです。
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
<http://www.kaken.co.jp>



眼科手術補助剤〈トリアムシノロンアセトニド〉製剤
処方せん医薬品（注意 — 医師等の処方せんにより使用すること）

マキュエイド® 硝子体内注用40mg
MaQuaid® intravitreal injection 40mg

薬価基準収載

製造販売元



わかもと製薬株式会社

〒103-8330 東京都中央区日本橋本町2丁目1番6号

本剤の「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細につきましては製品添付文書をご参照下さい。

※資料請求先 わかもと製薬株式会社 医薬学術部

2012.10.K



診療の“コツ”と“テクニック”

多焦点眼内レンズ



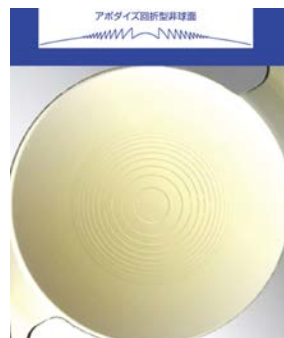
片山眼科医院
片山寿夫
かたやま・としお

富山県富山市五番町3-1
TEL:076-421-6310



北 陸ではまだ多焦点眼内レンズはあまり普及していない様です。当院では平成24年9月までにアルコン社製を約160眼に使用しました。多焦点眼内レンズの視力予後は、遠方近方ともほぼ良好な結果を得ています。多焦点眼内レンズに対し特に慎重に手術をしているためか、現在の所1例もトラブルはありません。欠点であるグレア、ハローに対しては、元々白内障にてグレア、ハローがあり術後に強く訴えられる方はいません。当院はレーシックを施術していません。多焦点眼内レンズを選けた方がよいと思われた例は、①80歳以上 ②認知症の気がある人 ③乱視、倒乱視で1.25以上の方 ④夜の運転を多くする方

す。多焦点眼内レンズの最大の利点は、遠くも近くも眼鏡なしでみえることです。認知症、80歳以上の半数、乱視の強い方は十分な満足が得られていません。症例を選択し、慎重に手術を行えば満足できるレンズだと思います。早く保健医療の適応となることを希望します。



プレチオッパーを脇差に頂をめざす



恵寿総合病院 眼科
馬渡嘉郎
まわたり・よしろう

石川県七尾市富岡町94番地
TEL:0767-52-3211



白 内障手術における核分割は山登りの頂のように思っています。これが終了すれば後は安全に下山をめざす。プレチオッパーの効用は核分割を容易にできることに加え、USの作業前に核の硬さの把握だけではなく水晶体・核の大きさ、後極の状態やチン氏帯の脆弱性などいろいろなヒントを与えてくれます。分割の一刀目はチン氏帯に負担をかけないように探るような気持ちで慎重に核に突き刺しています。そしてゆっくり広げ少し裂け目ができたらより深くはいり思い切りよくバサッと分割するようにしています。当初はこのバサッが臆病さゆえ十分にできていなかったように思います。しかしこの器具を開発する段階で最大限の先

端の開きでは囊への負担はそれほどかからないと検証されているはずであるという考えに至り、今ではバサッと分割するようにしています。また非常に硬い核の場合には、USで溝を掘ってきっかけを作れば容易にプレチオッパーで核を割ることができます。無事患者さんと生還することを目指し、刀を携え山に登る気持ちで手術にのぞんでいます。



加齢黄斑変性症治療剤

ルセンティス® 硝子体内注射液
(ヒト化抗VEGF^(注1)モノクローナル抗体Fab断片)

【劇薬】(処方せん医薬品) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

LUCENTIS® ラニズマブ(遺伝子組換え)硝子体内注射液

注1) VEGF: vascular endothelial growth factor (血管内皮増殖因子)

薬価基準収載

NOVARTIS

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

(資料請求先)

NOVARTIS DIRECT

0120-003-293
受付時間: 月~金 9:00~17:30
(祝日及び当社休日を除く)
www.novartis.co.jp

炭酸脱水酵素阻害剤/β-遮断剤配合剤
緑内障・高眼圧症治療剤

薬価基準収載

コンソフト® 配合点眼液

COSOPT® Ophthalmic Solution

(ポリゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液)
処方せん医薬品: 注意—医師等の処方せんにより使用すること

本剤のご使用にあたり、【効能・効果】、【用法・用量】、【禁忌を含む使用上の注意】等詳細については、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 (資料請求先)

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/



発売元

参天製薬株式会社

〒533-8651 大阪市東淀川区下新庄3-9-19
http://www.santen.co.jp/

2011年12月作成 CST11AD212-1216

講演会スケジュール (2013年～)

日程	会名	場所	時間	演者
3月16日(土)	第18回北陸眼疾患シンポジウム	ホテル日航金沢	17:30～20:00	西田 幸二 先生(大阪大学) 石川 均 先生(北里大学) 藤島 浩 先生(鶴見大学)
4月14日(日)	第331回金沢眼科集談会	IT ビジネスプラザ武蔵	13:00～16:00	稲谷 大 先生(福井大学)
4月20日(土)	第4回石川黄斑疾患講演会	金沢都ホテル	18:00～20:00(予定)	林 篤志 先生(富山大学) 小椋 祐一郎 先生(名古屋市立大学)
6月22日(土)	緑内障プレミアムシンポジウム in 金沢	金沢都ホテル	15:45～	岩瀬 愛子 先生(たじみ岩瀬眼科) 富田 剛司 先生(東邦大学) 山本 哲也 先生(岐阜大学) 新家 眞 先生(関東中央病院)
9月28日(土)	第7回北陸オフサルミックスフォーラム	ホテル日航金沢	17:00～20:00(予定)	未定

日程	会名	場所	時間	演者
1月19日(土)	第95回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山国際会議場(会議室203・204)	18:30～21:00	仁科 幸子 先生(国立成育医療研究センター)
3月23日(土)	第19回とやま眼科学術講演会	名鉄トヤマホテル	18:00～21:00	有田 玲子 先生(伊藤医院副院長) 田原 明彦 先生(産業医科大学)
5月26日(日)	第68回富山眼科集談会	富山国際会議場(会議室203・204)	13:00～16:30	後藤 浩 先生(東京医科大学)
6月15日(土)	第20回とやま眼科学術講演会	名鉄トヤマホテル	18:00～21:00	堀田 喜裕 先生(浜松医科大学) 大路 正人 先生(滋賀医科大学)
7月20日(土)	第21回とやま眼科学術講演会	名鉄トヤマホテル	18:00～21:00	園田 康平 先生(山口大学) 池田 恒彦 先生(大阪医科大学)
8月3日(土)	第96回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山国際会議場(会議室203・204)	18:30～21:00	村木 早苗 先生(滋賀医科大学)

日程	会名	場所	時間	演者
2月2日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00～	天野 史郎 先生(東京大学)

拡大読書器のインサイト



×1.5倍
～56倍

色切替
基本的に
5パターン

操作が
シンプル

ライン
マスク
機能

ファインド
機能搭載

新製品

【トパース・プレミアム】198,000円

富山大学病院 ロービジョン外来 様にて
「トパース」「ルビー」をご紹介頂いております。



×2倍
～14倍

色切替
5パターン

操作が
シンプル

携帯型 保証2年・専用筆記スタンド付

【ルビー】99,000円 (非課税)

この他にも、ユーザー様のニーズにお答えできるよう、省スペース型の『オニキス』や
中型の『サファイア』『オリンピア』など、様々な機種をご用意しております。

インサイト 拡大

検索

←お問合せ→

(詳 細 は W E B で)



insight 株式会社 インサイト

TEL: 022-342-6801

アイリンク コラム 眼科医を志して

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座教授

林 篤志



① 学生・研修医時代

私の医学生時代は昭和57年から63年ですが、学生時代は高校のときから続いていた軟式テニス部に入っていました。個人では西医体でベスト8に入り、全医体にも出場しました。医学部4年生まではクラブ活動とバイトで忙しく、勉強もそこそこ程度でしたが、あるとき新聞の投稿欄に癌で闘病中のご婦人の方が「医学の進歩を信じて生き続けたい」との強い意志と、医学生への期待が綴られたこの投稿を読んだとき、私は今までの自分を反省し、医学の進歩を待ち望んでいる患者さんのためにもっと勉強しようと決意しました。俄然、講義も真剣に聞き、勉強するようになりました。臨床科のすべてに興味をわきました。特に内科の成績は抜群で、ある内科の教授からは大学院に来るように強くお誘いいただきました。そのような中で、私は、人生の最後まで生活の質を保つために最も重要な視覚を治療する眼科にいくことに決めました。当時、自分でも

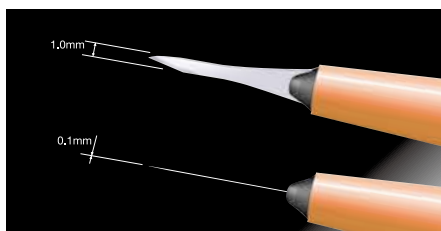
内科に行くことには不安はありませんでしたが、眼科は繊細な外科手術を行い、特殊な技術が必要に思われ、自分にできるかどうか不安でした。しかし、阪大眼科の先生方から「大丈夫」と言われ、その言葉を信じて入局しました。研修医になっても私はバブル景気の世間とは隔絶した生活を送っていました。眼科では患者さんが手術後見えるようになって素直に喜んでくれるのが本当に嬉しく、仕事の活力の源泉であったと思います。



S63年入局者12名が阪大眼科の眞鍋教授のご自宅に招かれて（右から6人目が林教授）

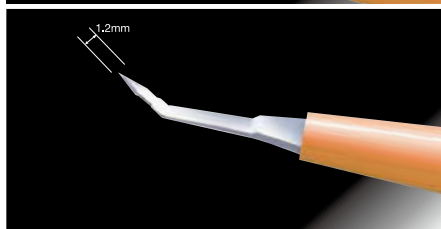
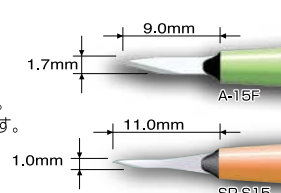


KAI マイクロサージェリー ナイフ MICROSURGERY KNIVES STERILE • STAINLESS STEEL • SINGLE USE



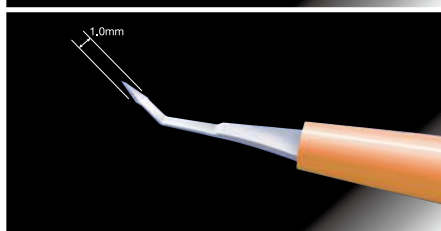
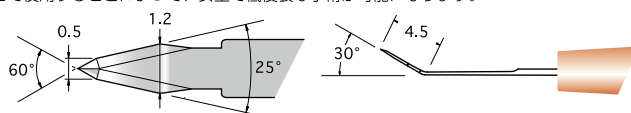
サイドポートナイフ ストレート

- ・ストレートナイフの刃幅を1.0mmとすることで、ストレートナイフ刺入の深さでサイドポートのサイズが不安定になるという問題を解消。
- ・常に一定の大きさの創口を作成でき、手術の質の向上につながります。
- ・ナイフの刃付け部分が短くなったことで手術の安全性が高まっています。



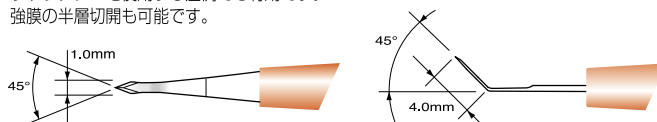
サイドポートナイフ トラペゾイド

- ・短い刺入距離で理想的な台形の創口が作成可能です。
- ・浅前房であっても前嚢や虹彩を傷つける恐れが少なく、また還流液のリーク量を減少させることができます。
- ・KKMナイフとあわせて使用することによって、安全で低侵襲な手術が可能になります。



サイドポートナイフ ユーティリティー

- ・1.0mm幅で十分な剛性を持たせることにより、刺入もスムーズであり安定した幅のサイドポートが作成可能です。
- ・曲がりがついているため鼻側からのサイドポート作成も容易です。
- ・小瞳孔の患者様にリトラクターを使用する症例でも有用です。
- ・コシが強いため、強膜の半層切開も可能です。



製造販売元

カイ インダストリーズ株式会社
国内営業部 医療器

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575) 28-6600 Fax (0575) 28-6611
<http://www.kai-ind.co.jp>

販売名: マイクロサージェリーナイフ
医療機器認証番号: 219ABBZX00200000

MANI®

The Ultimate in Sharpness

究極の切味



〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
お問い合わせ先【眼科営業課】TEL 028-667-9911 FAX 028-667-6177
8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
Phone: +81286677565 Fax: +81286676177

MANI®
MANI, INC. マニー株式会社



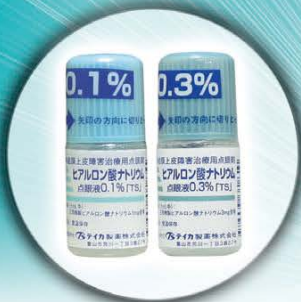
Trust and Safety

「TS」マークには 信頼と安全の思いが込められています。

抗緑内障・高眼圧症点眼剤

ニプラジロール点眼液

ニプラノール点眼液 0.25%



角結膜上皮障害治療用点眼剤

精製ヒアルロン酸ナトリウム点眼液

ヒアルロン酸ナトリウム点眼液 0.1%・0.3%「TS」

TS テイカ製薬株式会社
Teika Pharmaceutical Co. Ltd.

〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27 TEL.076-431-1717 FAX.076-431-6707
<http://www.teika.co.jp> [資料請求先 テイカ製薬株式会社 学術課]



Woofy(ウーフィー)
テイカ製薬イメージキャラクター

医療機関の新規開業から事業継承まで

新規開業
コンサル
ティング

- 診療圏分析
- 金融機関との
打ち合わせ

医療法人
制度
コンサル
ティング

- 新規設立
- 基金拠出型
への移行

スタッフ
教育

介護事業
コンサル
ティング

- サービス付き
高齢者向け
住宅等の新設



島経営グループ
株式会社メディカ・コンサルティング

〒920-0003 石川県金沢市疋田1丁目33番地
[TEL]076-252-0162 [FAX]076-251-5423
<http://www.mediciconsulting.co.jp>

いま、ホームページをお考えの方に

レンタル
ホームページ
開始!

新発
想

ホームページの
レンタルシステム誕生!

produced by
ISHIN

レンタルホームページ

広報くん

ドクター版

先着100名様

月額レンタル料 6,000円

デザイン制作費など、初期費用は一切不要!

ホームページをすでにお持ちの方も
ぜひご参加ください。

まずは、ご連絡ください

お問合せ NPO法人プロジェクト医心
ホームページ開設チーム

TEL.0120-326-926

E-mail: info@isn-hp.com

The Road to an Ophthalmologist 眼科医を目指して——

研修医手記

現在、どのような研修期間を過ごされていますか？



PROFILE

尾崎弘典 おざき・ひろのり

富山大学眼科

最近、近視の病態や予防に関する様々な文献を拝見する、或いは講演を拝聴する機会を多く頂きました。自分自身が高度の近視であるため、興味をもって取り組んでいます。また、日常診療の場では周囲から「先生」と呼ばれ、それをプレッシャーに感じることもあります。

現在、患者さんの眼はどのような状態なのか、術後にどのような見え方になることが予想されるか、を堂々と説明できる医師に憧れています。患者さんの多くは「今よりよく見えるようになりたい」という気持ちを抱かれて来院されますが、「本当は病院に来たくはなかった」という気持ちも強いと聞きます。また、視力が改善しても、車の運転ができるなどの患者さんの要望が叶わなければ、満足されるわけではない。眼科の臨床ではそのような難しい面もあります。今後多くの経験を積み重ねていきたいと思っています。そして、自分が発見したことが診療に生かされることがあれば嬉しく思います。

第1回 眼科サマーキャンプin箱根

8月4、5日に開催された第一回眼科サマーキャンプin箱根に参加させていただいた、富山大学6年生の石田聖朗です。サマーキャンプでは、全国で御活躍されている先生方による御講演に加え、手術体験、視覚障害体験、検査機器の体験などの実技セミナーもありました。講演内容は、日本の眼科の現状、必要性、将来性などや、眼科医のキャリアパスや生活について、そして眼科の魅力についてなど、多岐にわたるお話でした。特に印象的だったのが高橋政代先生の再生医療についてのお話でした。最近話題のiPS細胞の基礎研究を、眼科で臨床応用しようというものです。眼科の魅力の一つとして高度な機械を用いた診察や手術があげられると思います。しかし高橋先生のように最先端医療の研究をし、それだけでなくそれを臨床につなげる、という道がある事も、眼科の魅力の一つだと思いました。

実技セミナーでは実際にOCTを触らせていただいたり、机太郎という機械で白内障手術の体験をさせていただきました。やはり実際に診察器具や手術器具を触るのは面白いですね。

今回のサマーキャンプで何よりも印象的だったのが、どの先生方も明るく、本当に楽しそうに眼科という仕事をされている事でした。きっと眼科というのはとてもやりがいのある診療科なのでしょう。来年も開催されるそうなので、眼科に興味がある人も無い人も是非参加してみたいかがでしょうか。とても楽しい2日間を過ごせますよ！

富山大学医学部6年 石田 聖朗



抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤

[薬価基準収載]

レミケード®点滴静注用100

REMICADE® for I.V. Infusion 100 (インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤)

(生物由来製品) 創薬 旭方せん医薬品 (注意: 医師等の処方せんにより使用すること)

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

10th Anniversary



製造販売元(資料請求先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区北浜2-6-18

2012年9月作成



眼の医療のために、できること。

三和器械は眼科医療の専門商社として
最新の医療機器、医療用医薬品及び
専門的な技術メンテナンスを各医療機関に提供しています。

<http://www.sanwakikai.co.jp/>


眼科医療機器 眼科用剤 総合商社
三和器械株式会社

〒920-0935 石川県金沢市石引4丁目4番6号
TEL:076-222-1655(代) FAX:076-222-1668
E-mail:post@sanwakikai.co.jp